



2019年7月22日

各位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード8739 東証第一部)

「未来創生 2号ファンド」
インドで IT を活用したラストワンマイルの物流サービス(LetsTransport)を提供する
Diptab Ventures への投資実行
— IT を活用し、インドの物流課題を解決 —

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2015年11月に設立した「未来創生ファンド」が、インドで IT を活用したラストワンマイルの物流サービスを提供する Diptab Ventures（本社：インド バンガロール、CEO：Pushkar Singh。以下、DV社と表記）への投資を実行しましたのでお知らせします。

DV社は今回の調達資金を活用し、サービス提供都市の拡大および新事業の拡充を進める予定です。

■投資先企業の概要

DV社は、2015年4月、インド工科大学同窓生のメンバーで設立されました。DV社CEOのPushkar氏は、大手物流会社での勤務経験を通じて、インドの物流、とくにラストワンマイル配送が非常に非効率的な状況になっていることに気づき、ITによる解決を目指し同社を設立しました。

インドでは経済の急成長に対し、物流インフラが追いついておらず、また組織化されたラストワンマイル物流事業社が少ないのが現状です。同社が展開する配送サービス「LetsTransport」は IT 活用により高効率、低コスト配送サービスを提供します。現在インド9都市でサービスを展開しており、売上高も1年で2倍以上に成長しています。

■「未来創生（1号）ファンド」及び「未来創生 2号ファンド」の概要

未来創生（1号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた3社による総額約135億円の出資により、2015年11月より運用を開始しました。最終的には、上記3社を加えた計20社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技术を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約50社に投資しました。2018年下半期には、既存投資領域3分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生2号ファンドの運用を開始しました。2019年6月末時点の運用資産残高は、1号と2号あわせて、1093億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL：03-6711-9100 / FAX：03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com